

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課
予算科目	会計 01 一般会計
	款 02 総務費
	項 01 総務管理費
	目 12 生活交通対策費

事業名	自主運行バス購入事業	事業開始年度	平成 13 年度
	自主運行バスの車両整備	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市生活交通再編計画 (平成23年3月)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整えるための車両整備。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	交通事業者	- 車両購入に係る入札事務 - 適切なメンテナンスと計画的な車両更新の総括

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

【事業概要】

老朽化した廿日市さくらバスの車両更新及び佐伯地域のデマンド運行に必要な車両を購入した。
(廿日市さくらバス)
初年度登録より13年を経過したバス車両3台のうち1台を更新した。
(デマンド佐伯さくら号)
地域内を細やかに運行するデマンド交通における、冬季の安全・安定運行のため四輪駆動車（12人乗りワゴン）を導入した。（導入路線→玖島・友和線、所山線）

【歳入】

社会資本整備総合交付金（補助率55%）10,736,000 円 →廿日市さくらバス
自主運行バス購入事業債（合併特例債）14,400,000 円 →廿日市さくらバス8,300千円、佐伯さくら号6,100千円
計25,136,000 円

【歳出】

乗客26人乗りノンステップバス19,525,320 円 →廿日市さくらバス
乗客12人乗りワゴン車両(四駆)6,442,691 円 →佐伯さくら号
登録費用ほか216,440 円
計26,184,451 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
財源内訳	直接事業費 A	25,733,247	26,184,451			
	国庫支出金	14,025,000	10,736,000			
	県支出金					
	借入金（市債）	10,900,000	14,400,000			
	その他(使用料など)					
	市（市税など）	808,247	1,048,451			
人件費（按分）B		0.20 人 1,697,200	0.20 人 1,714,800			
総事業費 (A+B)		27,430,447	27,899,251			
ト換算	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人			
		市民1人当たり	233			238
		②利用者数	317,230 人			288,384 人
			利用者一人あたり	86	97	

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	市自主運行バス路線数	路線	8	8	8	8	
	市自主運行バス利用者数	人	317,230	390,000	288,384	400,000	